

引出式真空包装機 取扱説明書

- このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ご使用の前に必ず本書「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになった後は必ず手元に保管してください。

VCH-300

Vacuum Cooker



重要なお知らせ	1
安全上のご注意	2
1. ご使用になる前に	
1-1 付属品の一覧	7
1-2 使用上のご注意	8
1-3 電源・アース	9
1-4 真空ポンプの維持管理	10
1-5 各部の名称	11
1-5-1 製品本体	11
1-5-2 操作パネル部	12
1-6 工程の機能説明	12
2. 操作前の準備	
2-1 各ユニットの接続	13
2-2 電源の入れ方	16
2-3 暖機運転の方法	16
3. 操作方法	
3-1 操作エリアの説明	17
3-2 真空包装の手順	17
3-3 プログラムの変更方法	20
補足 シール時間の設定について	21
4. 点検とメンテナンス	
4-1 日常点検と定期メンテナンス	22
4-2 オイルの交換方法	23
4-3 ヒーター線と絶縁布の交換方法	25
4-4 エクゾーストフィルターの交換方法 (別売品)	27
4-5 引出し内の清掃方法	28
4-6 ポンプリセットスイッチ (サーマルリレー)のリセット方法	30
4-7 ガラス管ヒューズの交換方法	31
5. 困ったときは	
5-1 トラブルの症状と対処方法	32
5-2 エラーメッセージと対処方法	34
6. 付表	
6-1 初期設定値	35
6-2 設定範囲	35
6-3 真空度設定の目安	35
7. 点検表	36
8. 仕様	
8-1 外形寸法	37
8-2 仕様	37
9. 保証	38
10. アフターサービスについて	38

重要なお知らせ

■本製品について

- 本製品は電気用品安全法の「特定電気用品以外の電気用品」に該当します。
- 本製品をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。
本書の記載内容を守らない事により生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の仕様及び外観は改良のため、予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国内仕様であり、国外の規格等には適合していません。
本製品を国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いません。また、当社は本製品に関する国外での保守サービス、及び技術サポート等は行っていません。

■本書について

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については万全を期しておりますが万一、不審な点や誤り、お気づきの点等がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- その他、本書に記載している商品名は商標登録または商標になっている場合があります。

■食品等を取扱いの事業者の方へ

- 食品衛生法に基づき食品関係事業者へ自社の責任において食品の安全性を確保してください。
また、製品の性能維持のために毎日の点検・清掃を実施の上、衛生的にお使いください。



■移設・廃棄・譲渡について

- 本製品を移設する場合は、専門業者またはお買い上げの販売店または当社サービス店までご相談ください。
据付不備があると感電・火災の原因になります。
- 本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として扱われます。
専門の廃棄業者へご依頼ください。詳しくはお買い上げの販売店または当社サービス店までご相談ください。
- 本製品を転売・譲渡する場合は、お買い上げの販売店または当社サービス店までご相談ください。

安全上のご注意

- ・ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています必ず守ってください。
- ・表示と意味は次のようになっています。

■表示の意味




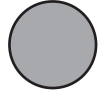


表示	表示の意味
 警告	・“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	・“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは失明やケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

表示	例	表示の意味
 禁止	 禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。
 禁止	 感電	△は、注意を示します。 具体的な強制内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。

・「安全上のご注意」の中で、本製品に貼り付けの「安全上のご注意ラベル」で表示しているものもあります。ご使用になる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、注意事項を守り、ご使用ください。

・本製品に表示してある「安全上のご注意ラベル」が破れたり、はがれた場合はお買い上げの販売店または、当社サービス店までご相談ください。

《免責事項について》

- 地震、雷等の自然災害、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 不適切な操作及び取扱いにより生じた直接的、間接的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らず生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 不適切な修理や改造またはセンサー、監視器等の設定値を不適切に変更された場合、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の故障により発生した二次的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の保証条件は保証書をご確認ください。

警告

◆専用コンセントを使用

- ・定格 15(A)、交流 100(V) の単独で使用してください。(たこ足配線は過電流発熱の恐れがあります。)
- ・アース配線工事は必ず実施してください。そのまま使用すると「感電」「火災」の恐れがあります。



アース線は
確実に取る

『感電、火災の危険性があります』

◆落雷の恐れがある時は電源プラグをコンセントから抜く

- ・雷がなりはじめたら、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。



指示

『感電、火災の危険性があります』

◆機械をメンテナンスする時は電源プラグをコンセントから抜く

- ・必ず電源プラグをコンセントから抜くか、主電源を切ってから作業をしてください。



指示

『感電の危険性があります』

◆パネルをはずしたまま運転をしない

- ・本製品のパネルをはずしたまま運転しないでください。
(お客様がけがを負う恐れがあります)



禁止

『感電の危険性があります』

◆交流 100(V) 以外では使用しない

- ・コンセント形状単相 100(V)、2P-15(A) で使用してください。



禁止

『感電、火災の危険性があります』

◆電源コードを無理に曲げたり、傷付けたり、引っぱったり、重い物を乗せたり、加熱しない

- ・電源コードを傷つけると、「感電」「火災」の恐れがあります。万一、電源コードが傷ついたときは、お買い上げの販売店または、当社サービス店までご相談ください。



禁止

『感電、火災の危険性があります』

◆濡れた手で電源プラグや電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しない

- ・濡れた手で操作すると「感電」の恐れがあります。
- ・高湿度結露の状態で作ると漏電により「感電」の恐れがあります。



接触禁止

『感電の危険性があります』

◆ご自身の自己判断で分解や改造、修理はしない

- ・点検や修理については、お買い上げの販売店または、当社サービス店までご相談ください。



禁止

『感電、火災の危険性があります』

◆屋外で使用しない

- ・雨水のかかる場所で使用しないでください。



禁止

『漏電、感電の危険性があります』

◆本製品を落としたり、強い衝撃を与えない

- ・破損し「感電」「火災」の恐れがあります。



禁止

『感電、火災の危険性があります』

◆異常時は使用しない

- ・発煙、異臭・異音等の異常状態が発生した場合は、機械の使用を停止しただちに主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・お買い上げの販売店または、当社サービス店までお問い合わせください。



禁止

『感電、火災の危険性があります』

◆陶器や密閉容器は使用しない

- ・陶器や密閉容器を真空包装すると、減圧中に破裂・飛散する恐れがあります。



禁止

『破裂、飛散の危険性があります』

◆酸性の食材（酢の物・レモンライス）等のパックを行った後は直ぐに清掃する

- ・ヒーター部及びチャンバー内の細部まで清掃（水拭き後乾拭き）をして下さい。



『錆付き腐食・塗装剥がれ等の故障原因となります』

◆長期間使用しない場合は保管前にオイル交換を実施し、安全の為電源プラグを抜く

『ポンプロックの可能性がありますが』『火災の原因となることがあります』



!注意

◆包装した品物を出し入れする時はけがに注意

- ・引出しの開閉時に手、指を挟むとけがをする恐れがあります。



指示

『けがの危険性があります』

◆引出しの開け閉めをする際は注意

- ・引出しを閉める際は、強い衝撃を与えないでください。
- ・機械の破損の原因となる可能性があります。また包装する内容物が引出し内よりこぼれる恐れがあります。



指示

『機械の故障の原因となります』

◆品物を取り出す時はやけど注意

- ・ヒーター部には、直接手で触れないでください。
- ・ヒーター部が使用直後、特に連続使用後は高温になるため、やけどをする恐れがあります。



接触禁止

『やけどの危険性があります』

◆メンテナンスの時はやけど注意

- ・長時間連続して機械を使用した直後のオイル交換はおやめください。
- ・ポンプ、オイルが高温になり、やけどをする恐れがあります。



接触禁止

『やけどの危険性があります』

◆連続使用時はやけど注意

- ・長時間連続して機械を使用した場合、機械全体が高温になり
- ・やけどをする恐れがあります。



接触禁止

『やけどの危険性があります』

◆メンテナンスの時はけがに注意

- ・ヒーター線交換時、手にけがをする恐れがあります。



指示

『けがの危険性があります』

◆設置場所の確認 1

- ・本製品は、ぐらついた台の上や傾いた場所、床が水平でない等、不安定な場所に設置しないでください。振動により落下の恐れがあります。



指示

『落下によるけがの危険性があります』

◆設置場所の確認 2

- ・本製品は機械内の放熱、オイル交換の為に、周囲（壁面等）より10cm以上離してください。
- ・高温多湿な場所、直射日光のあたる場所に設置しないでください。
- ・水等が飛び散り、漏電を起こす危険性のある場所に設置しないでください。



指示

『機械の故障の原因となります』

◆設置場所の確認 3

- ・本製品を塩害地域で使用する場合、塩分を含む風や汚れなどによって、製品表面や内部に錆、腐食等が発生する可能性があります。
- ・本製品を腐食性ガスの濃度が通常より高い場所で使用する場合、製品表面や内部、コードコネクタ端子等に錆、腐食等が発生する可能性があります。



『製品寿命が短くなる可能性があります』

◆設置場所の確認 4

- ・ノイズの発生する器具や機器（超音波洗浄機・高圧防虫機など）から離して設置してください。
- ・紫外線殺菌装置およびオゾン発生装置などから離して設置してください。



『機械の破損や故障の原因となります』

◆設置場所の確認 5

- ・火気の近くで使用しないでください。
- ・真空ポンプから飛散したオイルミストに引火する恐れがあります。



『火災の危険性があります』

◆シンナーやベンジン、アルコール、可燃性ガスを使用したクリーナー等で本製品を清掃しない

- ・火災の原因となることがあります。清掃は電源を切り、乾拭きしてください。
- ・特に汚れがひどい場合は、ぬれ布巾等に中性洗剤を染み込ませて拭き取ってください。



『火災の危険性があります』

◆本製品を移動するときは、必ず2人以上で行う

- ・1人で移動すると、けがをする恐れがあります。



『けがの危険性があります』

◆長期間使用しない時は安全の為、電源を切り電源プラグをコンセントから抜く

『火災の原因となることがあります』



◆電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かない

- ・電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると破損の原因となります。

『感電、火災の危険性があります』



◆電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

- ・差し込みが不完全ですと、感電、火災の原因になります。

『感電、火災の危険性があります』



◆排気部付近には食品を置かない

- ・真空ポンプの特性上、オイルミストが飛散する恐れがあります。

『周囲の食品にオイルが付着する恐れがあります』



◆真空包装専用袋の取り扱いに注意

- ・袋の角で指などを切傷する恐れがあります。
- ・パック直後のシール部の余熱で火傷する恐れがあります。

『切傷・火傷する恐れがあります』

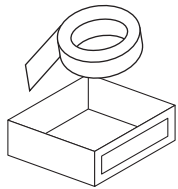


ご使用になる前に

1.1 付属品の一覧

本製品には、次のような付属品があります。ご使用になる前にご確認ください。

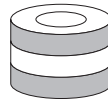
<標準付属品>



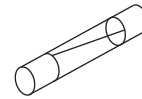
ヒーター線



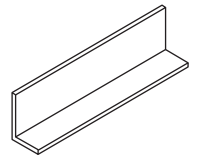
オイル(500cc)



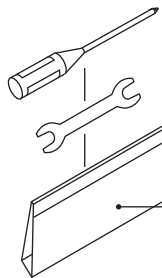
絶縁布



ガラス管ヒューズ(10A)



袋ストッパー



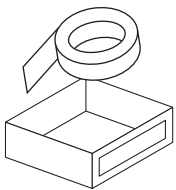
工具一式

- ・ プラスドライバー
- ・ スパナ24mm-32mm
- ・ 付属工具袋

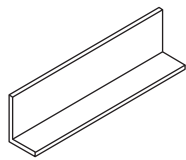
【ドキュメント・その他】

- ・ 配線図
- ・ 取扱説明書
- ・ 真空ポンプオイルチェック要領書
- ・ 保証書
- ・ 真空包装専用サンプル袋一式

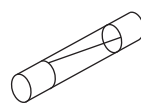
<オプション 増設ユニット (別売品) 付属品>



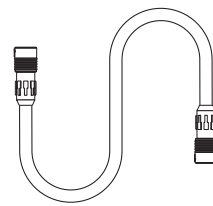
ヒーター線



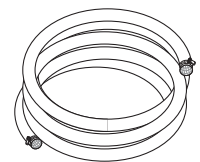
袋ストッパー



ガラス管ヒューズ(10A)



中継ハーネス



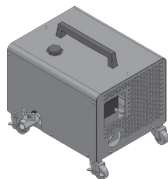
ホース

【ドキュメント・その他】

- ・ 保証書
- ・ 真空包装専用サンプル袋一式

1.2 使用上のご注意

- ◆包装中に吹きこぼれた時はつど清掃を行い、ポンプ経路に液体、異物が入らないように管理してください。
- ◆指定オイルの定期交換を実施してください。



- ◆袋口の溶着が弱いと内容物が漏れ出しますので、包装後は溶着状態を確認してください。

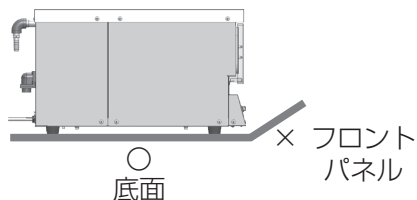
補 足

※ 包装袋の材質・厚み・設置環境によりシール時間を調整してください。



- ◆ご使用前と作業終了後はポンプ運転を実施してください。
- ◆長い期間ご使用にならないときは、オイル交換をした上で、保管をしてください。
安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ◆本製品を移動する際には主電源を切り電源プラグ・アース線を抜いてください。
持ち上げる際には、機械底面を持ってください。
(本製品を移動するときは、必ず2人以上で行う。)

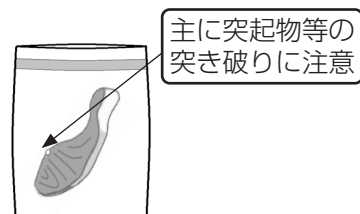


- ◆包装袋は純正の真空包装専用袋を使用してください。指定外の袋の使用はヒーター線に負荷をかけるものがあります。
- ◆包装袋なしに、そのままチャンバー内に物を入れしないでください。
- ◆ヒーターブロックの上に物を放置しないでください。

- ◆固い物を包装した場合、包装袋を突き破り穴があく恐れがあります。(ピンホール)

補 足

※ 包装物の大きさ、形状等により真空度、真空時間の調整及び、より強度のある包装袋をご検討ください。



- ◆本製品を掃除するときは、電源スイッチを切って乾拭きしてください。
特に汚れのひどい場合は、ぬれ布巾等に中性洗剤をしみ込ませて拭き取ってください。
水洗い等は避けてください。

- ◆常温で保存できない物をパックしても常温で保存する事は出来ません。
- ◆真空包装しても食品が痛むことがありますので、保存方法に注意してください。
- ◆温かい物のパックはできませんので、包装物は10℃以下に冷却してください。

1.3 電源・アース

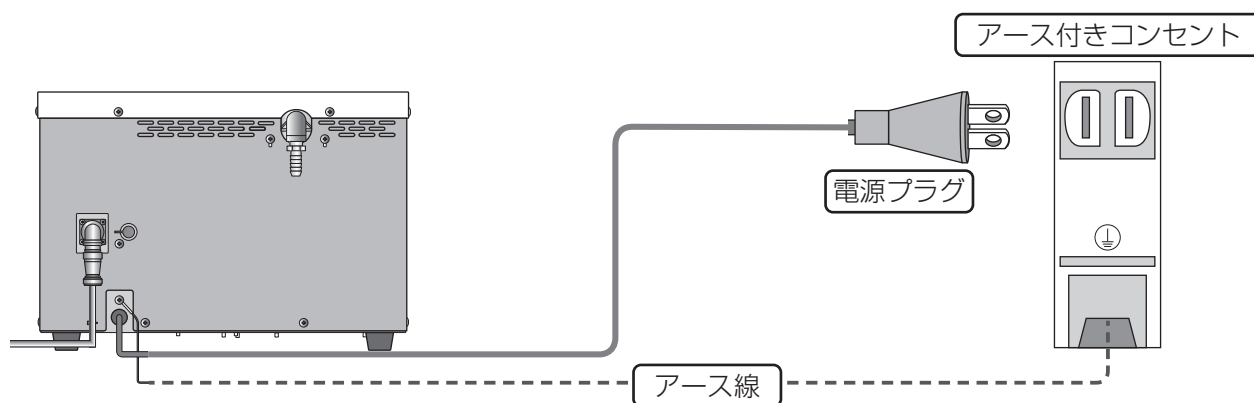


専用コンセント使用
アース工事

- 定格 15A、交流 100V のコンセントを単独で使用してください。また、アース配線工事を実施してください。

『感電、火災の危険性があります』

- 電気配線は、定格の電源電圧（交流 100V±10V）をご使用ください。
ただし消費電力の大きな電気機器と同じ配線回路から電源の供給を受けるとその機器が稼働する毎に電圧が大きくなり下がり、本製品の誤動作や故障の原因となる事があります。そのため、分電盤から本製品専用の配線を設けることをおすすめします。
また、電圧の変動が激しい場合は配線の電気抵抗等を調査する必要があります。
詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 接地工事（アース）D種接地工事（接地抵抗 100Ω 以下）を必ず行ってください。
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話線に接続しないでください。
アースが適切に取られていないと、感電事故、火災等を引き起こす原因となります。



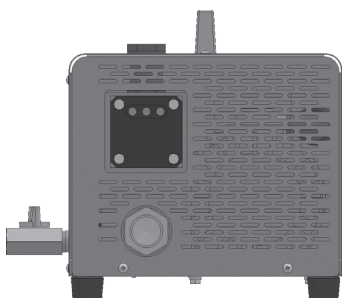
※ アース端子がない場合

お買い上げの販売店に依頼し、アース工事（D種接地工事）を行ってください。

※ 電源は本体ユニット 1 箇所、別売り増設ユニットをご使用の場合は計 2 箇所必要です。

1.4 真空ポンプの維持管理

本製品の維持・管理で最も重要なことは、真空ポンプの日常的なオイル点検と適切なオイル交換、フィルター交換です。



－オイルの点検・管理－ “オイルの点検、定期交換を適切に行いましょう”

- オイルは各部の潤滑、気密性の確保、ポンプ冷却効果等、重要な役割を担っています。オイル点検を行わないで使用し続けると、オイルの酸化劣化、スラッジ化をまねき、ポンプの能力低下やオイル漏れ、焼き付き等のトラブルが発生します。真空ポンプの不調による修理、交換は費用が発生します。オイルの量と汚れ具合を運転前に確認してからご使用下さい。



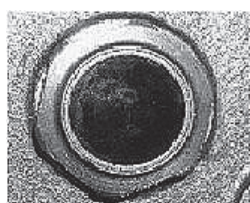
新油の状態



良好ですが変色があり酸化し始めています。この時点でのオイル交換をお勧めします。常にここまでの状態であればOKです。



茶色く変色し透明感もありません。各部摩耗が発生しています。早急なオイル交換が必要です。※場合によっては、エクゾーストフィルターの交換が必要となります。オーバーホール時期が近い状態です。



スラッジ化したオイルが付着し、オイルレベルが確認できません。早急なオーバーホールが必要です。ポンプリセット作動エラー・ポンプロックが発生してもおかしくない状態です。



水分を吸収し、オイルが白濁（乳化）しています。オイル交換やフラッシングが必要です。（ポンプ運転中はオイル攪拌により、白く見えますが、停止後、しばらくして泡が消えれば正常です。）

－フィルターの点検・管理－

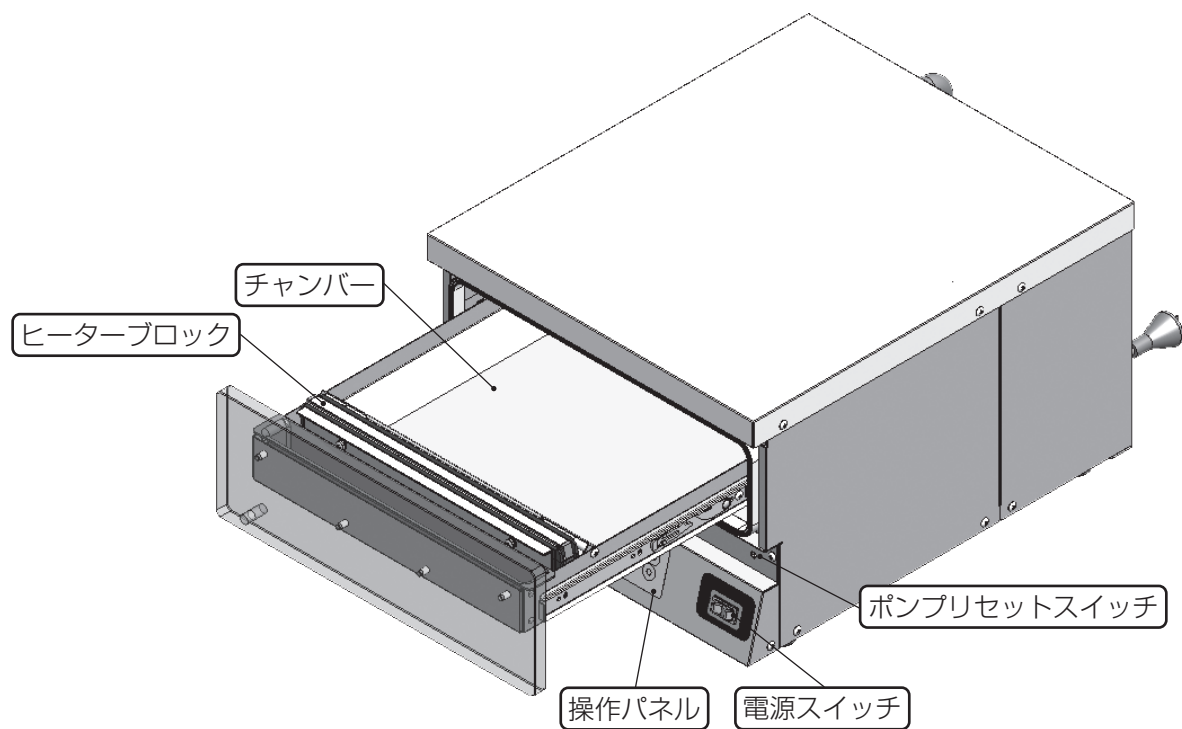
- エクゾーストフィルターは吸気の時に混ざるオイル成分と空気を分離させる働きがあります。長い間使用しているとエクゾーストフィルターには、ポンプ内に吸引されたほこりや包装物に由来する成分、水分、オイルのスラッジ等が詰まります。その結果、ポンプの内圧が上昇しオイル漏れを起こしやすくなります。また、運転負荷も高まり、ポンプの停止、高温になりやすくなる等の障害がでてきます。ポンプの状態によっては規定時間（約15ヶ月）よりも早い段階でエクゾーストフィルターの交換が必要です。お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。



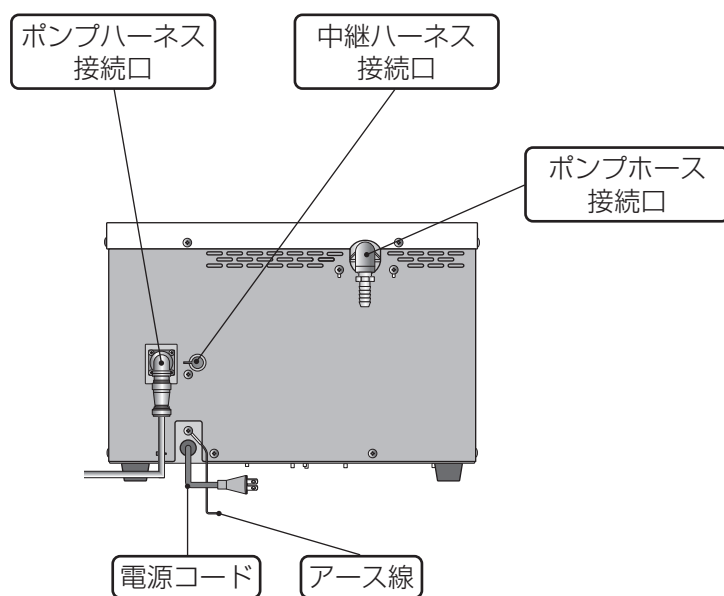
1.5 各部の名称

① 製品本体

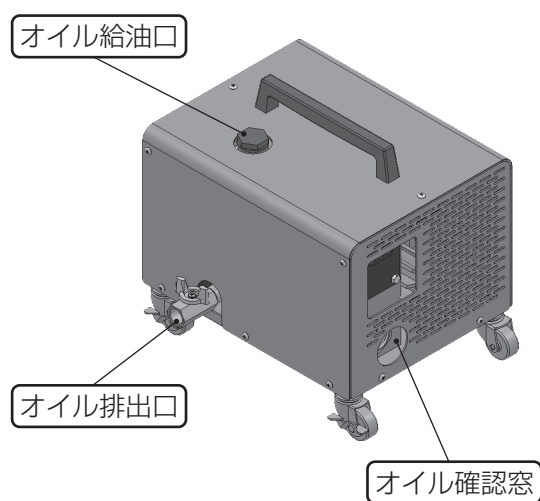
◆ 本体正面



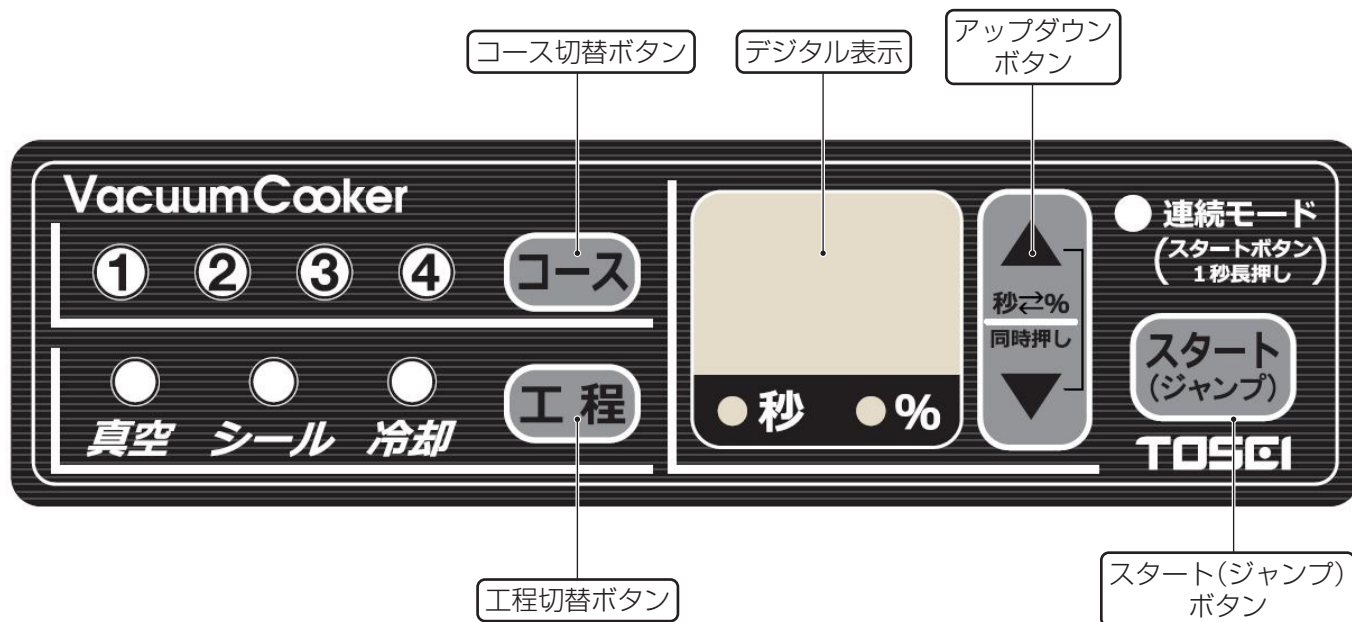
◆ 本体背面



◆ 真空ポンプユニット (ハーネス・接続ホース付き)



② 操作パネル部



1.6 工程の機能説明

下記の工程を運転し、真空パックします。

●真空工程

チャンバー内（引出し内）に、真空専用包装袋に入れた品物をセットします。

引出しを閉めて、【スタート（ジャンプ）】を押すと真空ポンプが起動します。

真空ポンプが、チャンバー内の空気を吸い出し、チャンバー内が徐々に真空状態になります。

真空の度合いは各コースに設定しており、さらにコースの設定変更でお好みの真空状態を設定できます。

パックする品物にあわせて、利用するコースを選択してください。

※ 利用時の品物の温度は 10℃以下厳守

●シール工程

真空工程が終了すると、チャンバー内のヒーターブロックが上昇し、同時にヒーター線が加熱され袋の口を熱溶着します。

●冷却工程

シール工程終了後、熱溶着した袋の口を冷やします。

冷却に要する時間は、シール工程時間の2倍程度で設定してください。

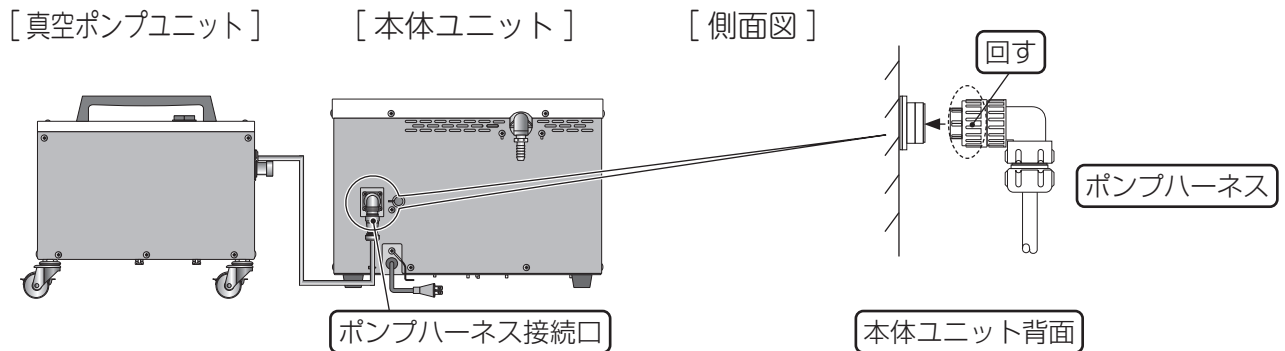
操作前の準備

2.1 各ユニットの接続

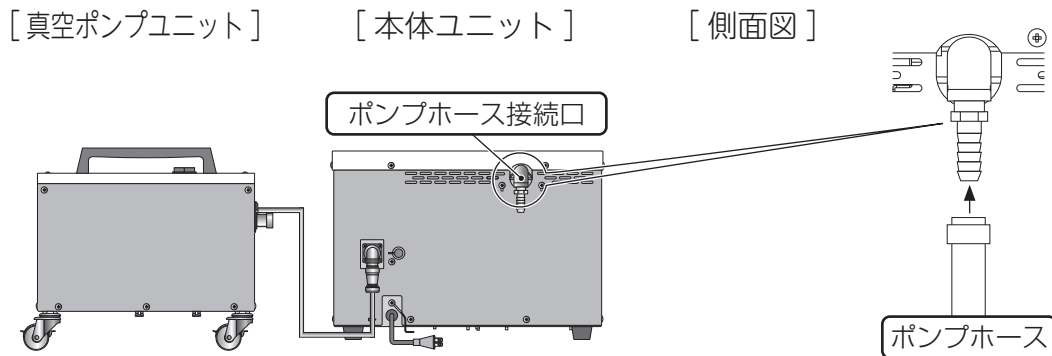
2.1.1 真空ポンプユニットの接続

- ※ 電源を入れる前に実施してください。
- ※ ポンプユニットのキャスターをロックし、ポンプが動かないように固定してから実施してください。

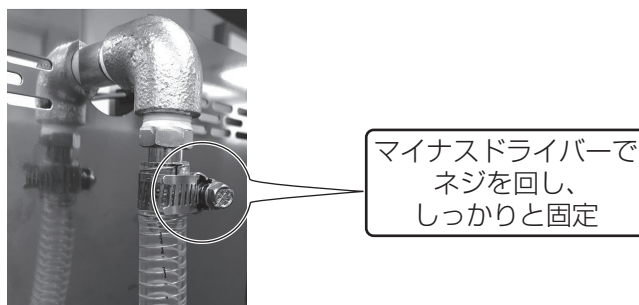
- 1** 本体ユニットのポンプハーネス接続口に、ポンプユニットのハーネスを接続します。
ハーネスを本体ユニット背面にある接続口に差し込み、接続部を回して確実に固定してください。



- 2** 真空ポンプユニットのホース接続口に、ポンプユニットのポンプホースを根元までしっかりねじこんでください。

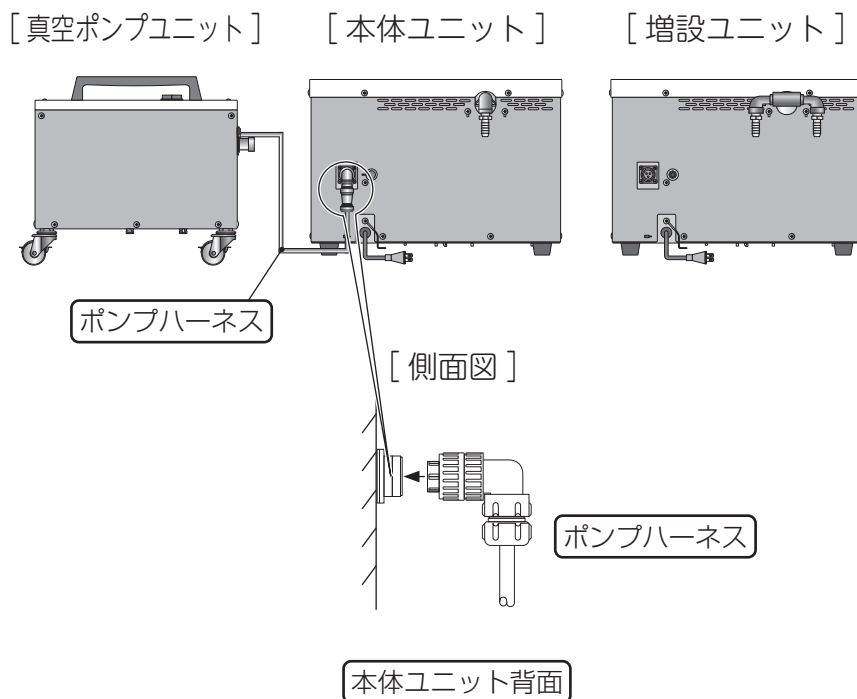


- 3** はめこんだホースが抜けないように、ホースバンドでしっかりと留めてください。

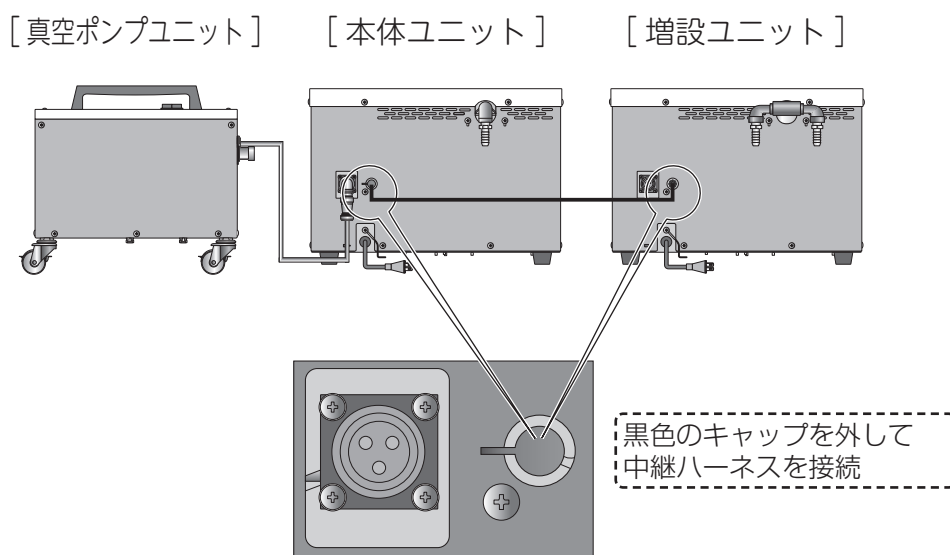


2.1.2 増設ユニット（別売品）の接続

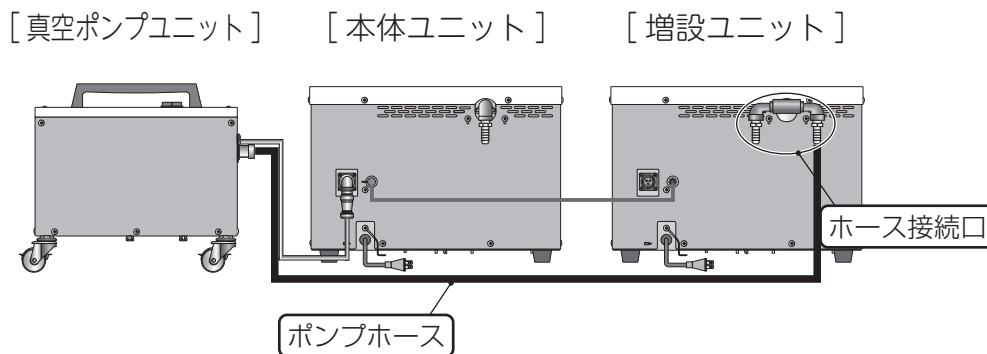
1 本体ユニットと真空ポンプユニットを 2.1.1 **1**と同様にポンプハーネスを接続してください。



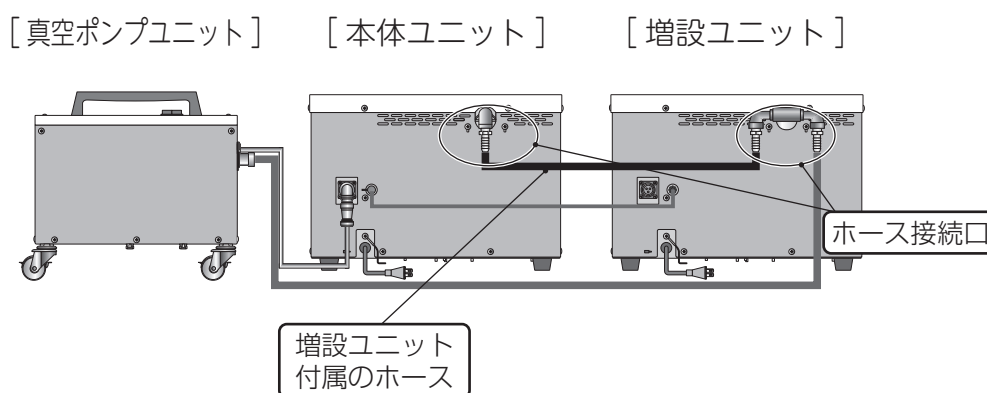
2 本体ユニットと増設ユニットの中継ハーネス接続口を、付属の中継ハーネスで接続します。黒色のキャップを外して、中継ハーネス接続口に差し込んで留めてください。



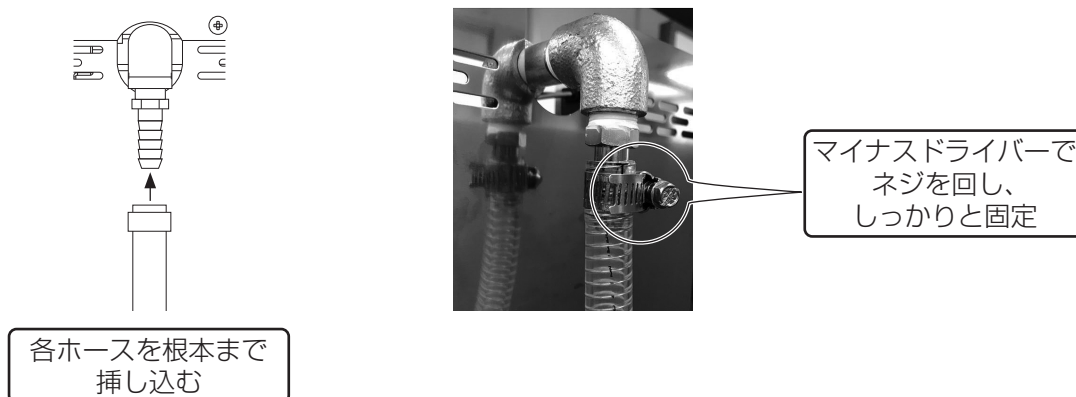
- 3** 増設ユニットのホース接続口に、ポンプユニットのポンプホースを接続します。



- 4** 本体ユニットと増設ユニットのホース接続口を、付属のホースで接続します。



- 5** はめ込んだ各ホースが抜けないように、ホースバンドでしっかりと留めてください。



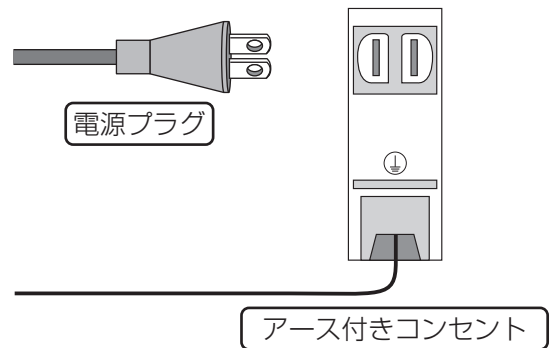
2.2 電源の入れ方



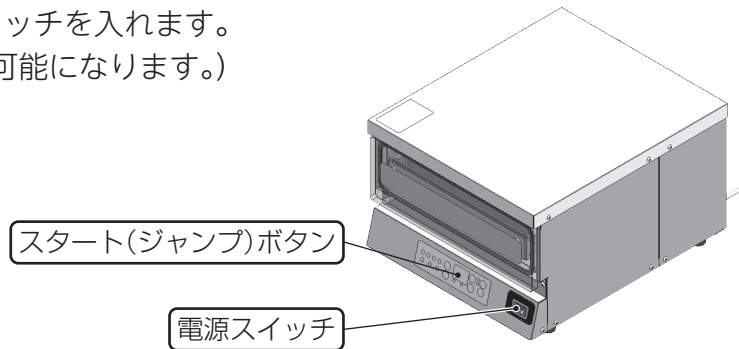
- 定格 15A、交流 100V のコンセントを単独で使用してください。また、アース工事を実施してください。

『感電、火災の危険性があります。』

- 1 電源プラグをコンセントに確実に差込みます。
コンセントは定格 100V-15A を単独で使用し、アース配線工事を行ってください。



- 2 電操作パネルの電源スイッチを入れます。
(各表示が点灯し、運転可能になります。)



※ (別売品) 増設ユニットを接続して使用する場合、本体ユニットと増設ユニット各 1 箇所、コンセントが必要です。

2.3 暖機運転の方法

- ※ 引出しを引き、開いた状態で操作してください。
- ※ ポンプ保護の為、使用前に暖機運転を実施してください。

- 引出しを手前に引き、開いている状態にして、操作パネルの【スタート (ジャンプ)】を押してください。暖機運転時間 (99 秒) 終了後、ポンプは自動で停止します。

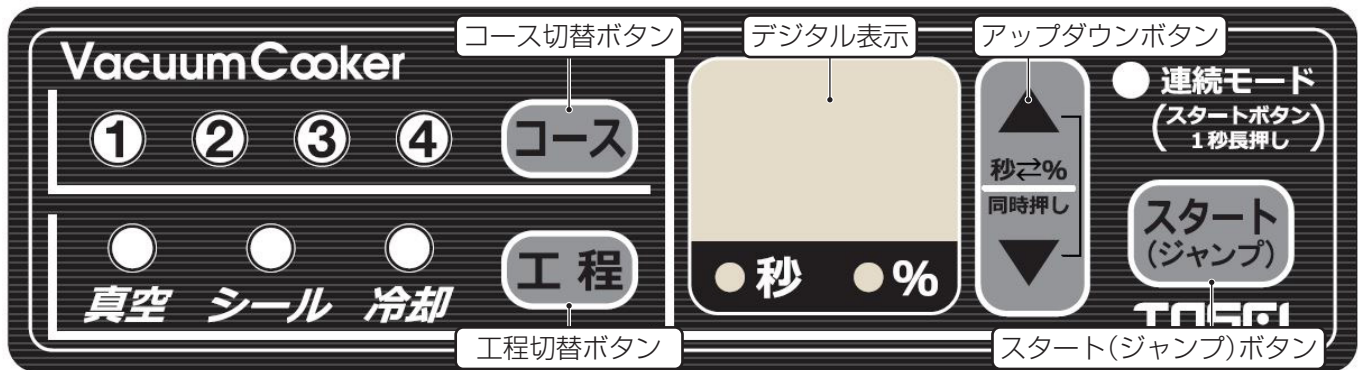
スタート
(ジャンプ)

! 使用上のご注意

- ・ 外気温度が低い (5℃以下) 場合、暖機運転中にポンプリセット作動エラー (表示: E0) が発生する場合があります。
- ・ 30 ページ ポンプリセットスイッチのリセット方法を参照いただき、エラーを解除し、暖機運転を実施してください。

操作方法

3.1 操作エリアの説明



3.2 真空包装の手順

温かい物のパックは厳禁

包装物は 10℃以下に冷却してください。

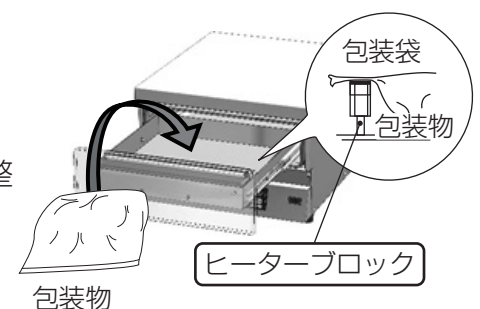
- 1** コースの選択
 プログラムはあらかじめ設定されています。
 【コース】を押すと選択されているコースが切り替わります。
 コースのランプが点灯し、デジタル表示に真空工程の設定値を表示します。
 【工程】ボタンを押すと、真空→シール→冷却の設定されている値を表示します。



3

※ 初期設定および設定範囲は P35 を参照ください。

- 2** 包装物のセット
 真空専用の包装袋に入れた品物をチャンバー内に入れます。
 袋の口を、ヒーターブロックの上にセットしてください。
 包装物の量はセット時にヒーターブロックに挟まないように調整してください。



- 付属の袋ストッパーにより袋の後端を押さえることができます。
- ヒーター線手前のグリップテープの上に、袋口をのせて手でさっと押さえると袋のズレを抑える効果があります。

! 使用上のご注意

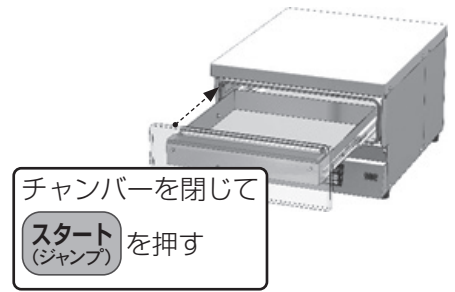
- ・真空に近づくと、液体は低温でも沸騰状態になります。沸騰した液体がこぼれないように、内容物は包装袋の 1/3 ~ 1/2 を目安に、シール部よりできるだけ離してセットしてください。
- ・高粘度及び乳製品等は食品の性質上吹き出しやすい為、冷蔵温度以下に冷やしてからの真空包装を推奨します。
- ・包装物が引出し内に接触しないようにセットしてください。

3 運転開始

引出しを軽く押し、しっかり閉じたことを確認し、【スタート(ジャンプ)】を押してください。

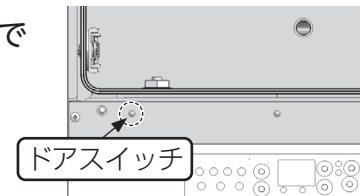
ポンプ運転が開始し、真空包装が始まります。

- ※ 引出しが確実に閉まっていない場合、真空不良「E2」を表示し運転が止まります。電源を入れ直し、上記の操作を行ってください。
- ※ 引出しを手でゆっくり閉じるとレールのロックに干渉し、引出しを閉じることができないことがあります。引出しを再度、閉めなおしてください。



- 本体のドアスイッチを指や物等で押した状態で運転しないでください。

『火災や火事の原因となります。』



● ジャンプ機能

真空工程中に【スタート(ジャンプ)】を押すと、シール工程に移行します。真空度は、【スタート(ジャンプ)】を押した時点の値になります。

- ※ 真空度40%以上に達しないと【スタート(ジャンプ)】を押しても次工程に移行できません。

● 連続モード

引出しを閉じた状態で【スタート(ジャンプ)】を長押しすると、真空運転開始と同時に、連続モードが青く点灯し、連続モードになります。

連続モード中は、引出しを閉めると選択中のコースを自動で運転スタートします。運転終了後に【スタート(ジャンプ)】を押すと、連続モードが解除されます。

**4** 包装物のできあがり

全工程が終了すると終了音が鳴ります。引出しを手前に引いて、包装物を取り出してください。包装後、袋口の溶着不足により剥がれてしまうとき、または溶着部分が溶け過ぎたときはシール秒数の修正を行ってください。

- ※ 同じ品物を包装する場合、包装物のセットから繰り返しとなります。

● 内容物の状態により以下のような仕上がりが想定されますが、機械の故障ではありません。

- ・ 入れすぎ、空気を多く含む食材、セット時の内容物と袋の隙間が多い等の状況で内容物が吹きこぼれる場合があります。
- ・ 厚みのある物や高粘度の物は内部の空気が残りやすく、仕上がりが緩くなる場合があります。
- ・ パックする内容物によって設定内容を調整の上ご使用ください。(P20 参照)

5 作業終了時

作業終了後は、電源スイッチを切ってください。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、清潔さを保つため、汚れが付着した際は必ず掃除をしてください。

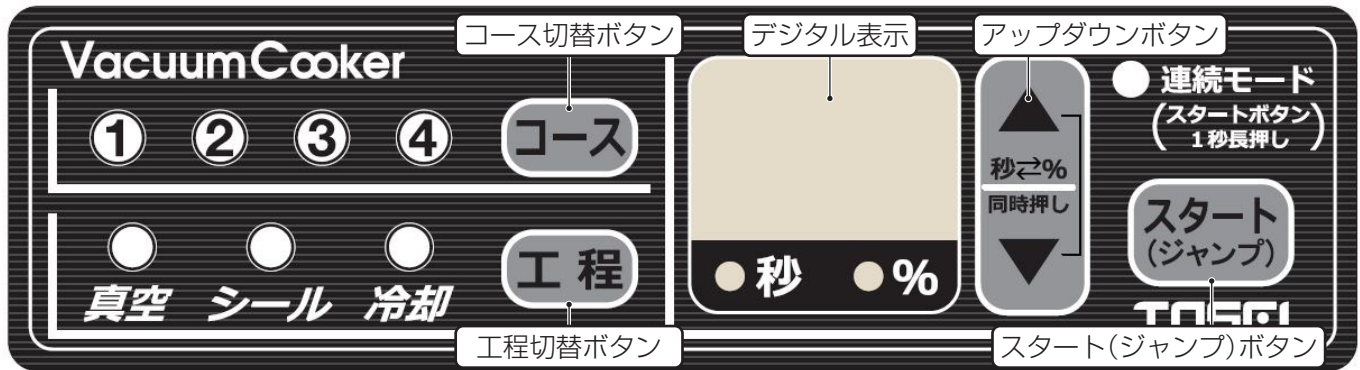
(⇒清掃方法の詳細については、28 ページ 引出し内の清掃方法をご覧ください。)

使用しない時は、汚れ防止の為、引出しを閉じてください。

増設ユニット（別売品）を接続して使用する場合

- ※ 中継ハーネス、ホースなどが接続されていることを確認し（P14 参照）、本体ユニットの電源を ON にしてからご使用下さい。
- 増設ユニットを接続して使用する際は、本体ユニットと増設ユニットの 2 台同時運転はできません。交互運転となります。
- 1 台を運転中に、もう一方の機械の【スタート（ジャンプ）】を押すと、運転予約となります。機械の運転が終了すると、もう一方の機械が自動で運転スタートとなります。（引出しが開いていた場合は、引出しが閉まると運転スタートとなります。）
- ※ 予約機能は一方の機械が運転中の時のみ有効となります。

3.3 プログラム変更方法



- ①コース切替ボタンで、変更したいコースを選んでください。
- ②工程切替ボタンを押し、変更したい工程が点灯するまでボタンを押してください。
- ③アップダウンボタンを押して、変更したい数値になるまでボタンを押してください。

※ 真空工程内の真空度 (%) と真空秒数 (秒) の切替は、アップダウンボタンを同時に押すと切り替わります。

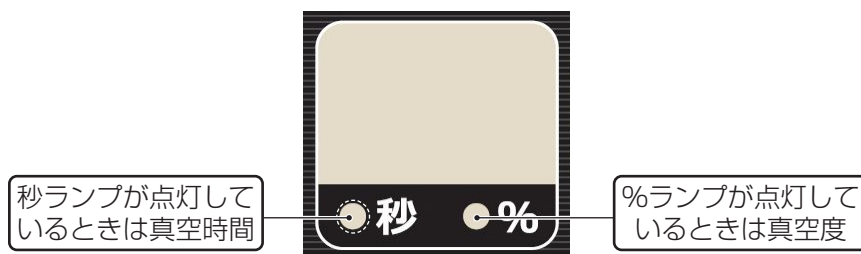
- ④引出しを閉じた状態で【スタート (ジャンプ)】を押すと、運転がスタートします。
引出しが開いた状態で【スタート (ジャンプ)】を押すと、ポンプの暖機運転が始まります。

※ 真空工程中に【スタート (ジャンプ)】を押すと、次工程に移行します。(P18 参照)

※ 【スタート (ジャンプ)】を長押しすると連続モードに切り替わります。(P18 参照)

※ プログラム変更後、運転を開始せずに電源を OFF すると設定変更前に戻ります。

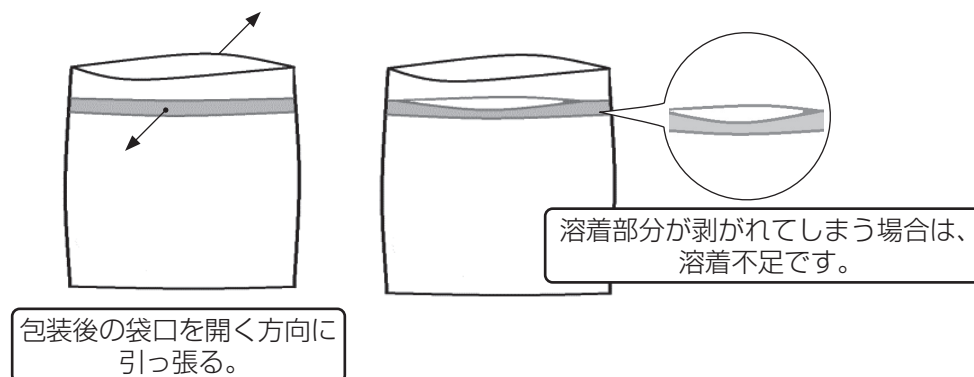
- ◆ 水分のあるものを包装する場合、減圧時の低温沸騰により真空度が設定値まで上がらない場合があります。
- ◆ 真空時間 (秒) もしくは真空度 (%) のいずれかでの動作となります。
「30 秒で 80%」設定のように 1 つのコースで時間・真空度を同時に設定することはできません。



- ※ シール時間が適正より短いと袋口の接着が弱くなり、包装後に内容物が漏れ出しますのでシール時間を調整 (延長) してください。
- ※ シール時間が適正より長すぎると包装袋が溶け過ぎ、包装袋の接着部分が溶断したり、包装物破損の要因となる可能性があります。

補足 シール時間の設定について

- ・ 包装袋の厚み・材質及び本製品の設置環境等により、溶着に必要なシール時間・シール冷却時間が異なります。
- ・ 使用する設置場所・設置環境で、必ずシールテストを行い適切な設定を行ってください。
- ・ 正常な溶着状態は、袋口を強く引っ張っても溶着部分がはがれません。



- ▶ 少しでもはがれが生じた場合は溶着不足です。

シール時間・シール冷却時間を、現在より長く変更してください。(0.2～0.4秒の延長から効果が出てきます)

シール目安（純正袋の場合）

- 包装袋（厚さ 0.07mm） …… 約 1.8 秒～ 3.0 秒
- 包装袋（厚さ 0.08mm～ 0.10mm） …… 約 3.0 秒～ 4.0 秒
（環境 周囲温度：5℃～ 35℃ 電源容量：定格値）

- ◆ 下記状況ではシール時間・シール冷却時間を調整する必要があります。

設定目安を基準に調整の上ご使用ください。

- ・ 本製品を初めて使用する時
- ・ 袋の種類（材質・厚み）を変更した時
- ・ 使用する環境温度が低温の場合
- ・ 電源電圧による調整

90V～95Vの場合：シール時間を増やす
105V～110Vの場合：シール時間を減らす

※ 注：単独コンセントで使用してください。

- また、下記の場合はシール不良の一因となります。対策を行ってからご使用ください。

- ・ 袋口の汚れ、セット時のヒーター部の汚れ、挟み込み
- ・ ヒーター部の消耗、本製品の故障

- ◆ 包装袋の袋口の溶着が弱いと包装後に内容物が漏れ出しますので、包装後は都度溶着状態を確認してください。

- ◆ 包装袋の袋口の溶着が強い（加熱しすぎ）と包装後に溶着部分が伸びたり、切れたりする事がありますので、シール時間を適正に設定してください。

※ シール時間を過度に増やすと絶縁布・ヒーター線の消耗が早くなります。

点検とメンテナンス



警告

- 本製品の本体を開ける場合は、主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

『感電、火災の危険性があります』

4.1 日常点検と定期メンテナンス

製品を安全にお使いいただくために、以下の点検を行ってください。

◆ 日常点検

項目	内容
電源コードの確認	コードのゆるみ、抜けかかり、折れ曲がり（断線）がないか。
ヒーター部の確認	ヒーター部に汚れ、付着物、絶縁布のコゲがないか。
パッキン周辺	引出しの合わせ面に、よごれ、へこみ、欠け等がないか。
オイルの汚れ	オイル状態が白濁、変色、不透明になっていないか。オイルの量はオイル確認窓の半分よりやや上が適量です。（詳細はP10を参照してください。）
引出し内（チャンバー内）の汚れ	チャンバー内に汚れ、異物等の付着物がないか。

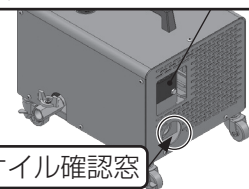
◆ 定期メンテナンス

項目	内容
オイルの交換	2～3ヶ月、もしくはポンプ稼働時間が500時間を超えた時点でオイル交換をしてください。また、液体を含む包装物の場合は、交換時期を早めてください。交換手順はP23オイルの交換方法を参照してください。
エクゾーストフィルターの交換	15ヶ月の使用ごと、もしくは下記の症状が出た場合はエクゾーストフィルターの交換が必要です。 ・真空ポンプユニットの排気部より煙状のオイルミストが出るようになった場合（特性上、正常時においても多少のオイルミストが飛散します。） ・真空度が上がらない場合（真空時間が長くなった）

- ▶ 交換するオイルは必ず、VCH-300 専用純正オイルをご使用ください。
 - ・ご用命の際はお買い上げの販売店または当社サービス店までご相談ください。
 - ・（自動車用エンジンオイルは、絶対使用しないでください。）

※ 排出されたオイル、取りはずしたフィルターは産業廃棄物です。廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託してください。

真空ポンプユニットの排気部



オイル確認窓

4.2 オイルの交換方法



警告

- オイルを交換する場合は、主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

感電、火災の恐れがあります。



注意

- 長時間連続して使用した直後の交換はおやめください。

ポンプ・オイルが高温になり、やけどする恐れがあります。



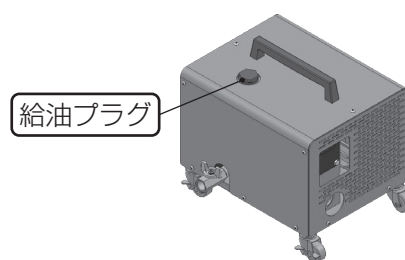
注意

- 床等にこぼれたオイルは拭き取ってください。

すべて転倒する恐れがあります。

1 オイル交換前に、引出しを開いた状態で【スタート（ジャンプ）】を押して、オイルを攪拌してください。ポンプ運転後は主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

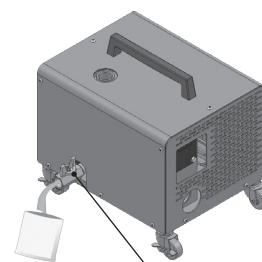
2 オイル給油プラグを付属のスパナ（32mm）で外します。



3 排油受けやビニール袋等を用意した後、オイル排出口を開き、オイルを完全に排出してください。

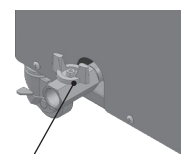
- ◆ 排油をこぼさないように排油受けやビニール袋等を用意してください。

廃油は廃棄物処理業者へ処分を依頼してください。



排油受けを用意して
オイル排出口を開ける

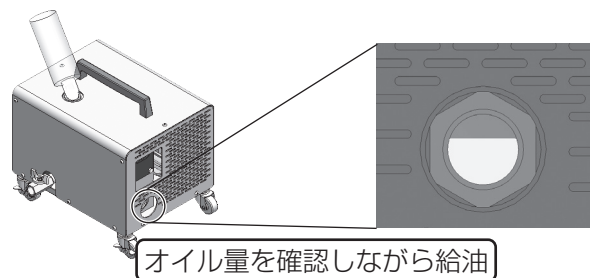
4 排出が終わりましたら、オイル排出口を元に戻します。



オイル排出口を閉じる

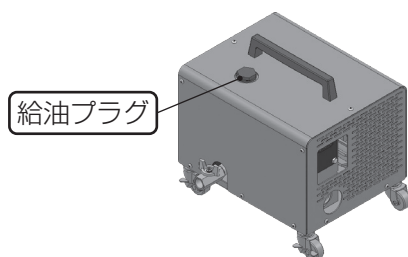
5 新しいオイルを、オイルレベルゲージの MAX と MIN の中間になるように給油してください。

※ 給油時は、ゆっくりとオイルレベルゲージのオイル量を確認しながら、十分注意の上、給油してください。オイル量は、多くても少なくてもポンプ破損の原因となります。



6 給油口のプラグを付属のスパナで確実に締め、本製品本体を元の状態に戻してください。

※ オイル量を再度確認してください。



《特にオイルが汚れている場合はフラッシングを行ってください》

- ▶ フラッシングは、オイル給油後、給油口のプラグを確実に締め、引出しを開いた状態で【スタート（ジャンプ）】をタッチして暖機運転を数回繰り返し、汚れたオイルを排出してください。
- ▶ 新しいオイルを上記と同じように補充します。

4.3 ヒーター線と絶縁布の交換方法



- ヒーター線・絶縁布を交換する場合は、主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

感電する恐れがあります。



- ヒーター線で手を切らないよう、十分注意して作業してください。

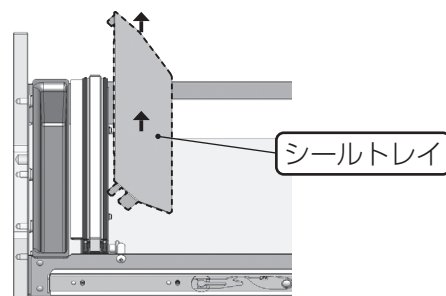
手にけがをする恐れがあります。



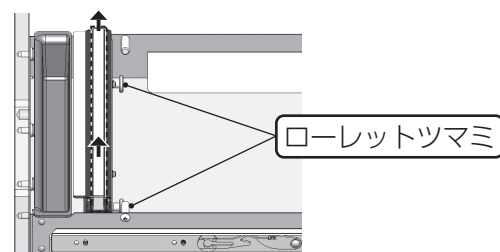
- 使用した直後の交換はおやめください。

ヒーターブロックが高温になり、やけどする恐れがあります。

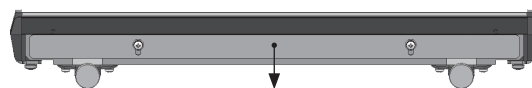
- 1** 引出しを開き、シールトレイを上方向に引き抜きます。



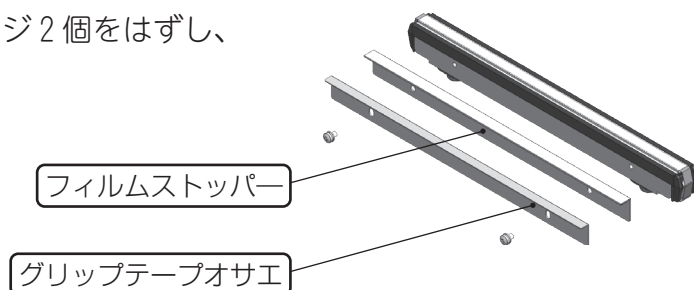
- 2** ローレットツマミを2箇所ゆるめ、ヒーターブロックを上方向に引き抜いてください。



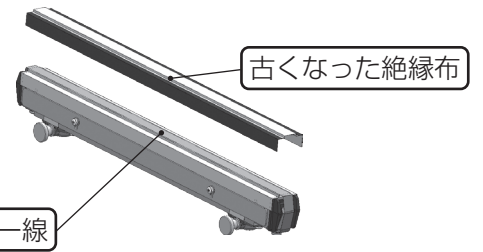
- 3** テープカバーのネジ2箇所をゆるめスライドさせます。



- 4** 反対面のグリップテープオサエを止めているネジ2個をはずし、フィルムストッパーをはずします。

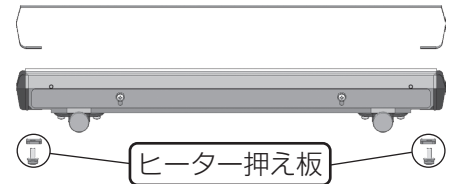


- 5** 絶縁布をヒーターブロックから丁寧に剥がします。
ヒーターブロックに付着した汚れ・水分は、きれいに拭き取ってください。



- 6** ヒーターブロック下面両端のヒーター押え板のネジ2個をはずし、ヒーター線はずします。

※ ヒーター線の下に絶縁布も汚れていたら貼り替えてください。

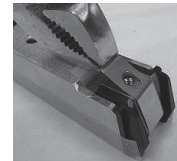


- 7** 新しいヒーター線の片側をヒーターブロックとヒーター押え板の間に挟み、ネジで固定します。

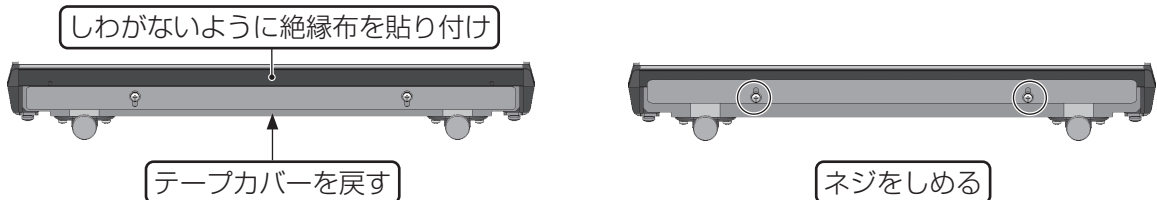


- 8** もう一方側のヒーター線をプライヤー等で強めに引き、ヒーターブロックとヒーター押え板の間に挟み、ネジとヒーター押え板で固定します。

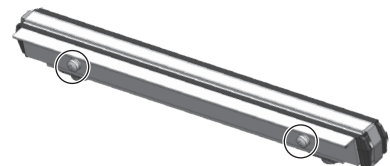
※ 余ったヒーター線はハサミ等で切断してください。
ヒーター線の下に絶縁布がない状態で使用すると大変危険です。



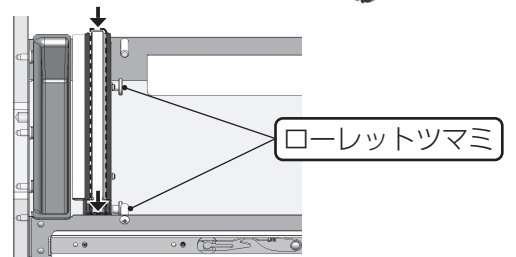
- 9** 絶縁布が「しわ」にならないようにヒーターブロックに貼り付け、テープカバーを元の位置に戻します。



- 10** 反対面にグリップテープオサエとフィルムストッパーを重ねてネジ2個で取付けます。

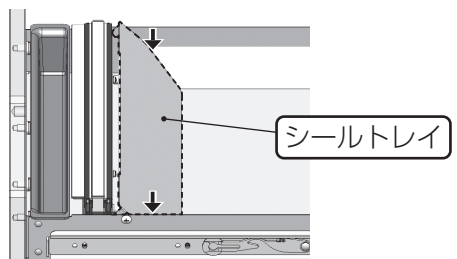


- 11** ヒーターブロックを上から押えながらローレットツマミをしめてください。
(しめこみ過ぎにご注意ください。)



- 12** シールトレイを元の位置に取付けてください。

※ 絶縁布が破損したまま使用すると、包装袋に過剰な熱が加わり、包装袋の破損の原因となります。



4.4 エクゾーストフィルターの交換方法（別売品）



- エクゾーストフィルター交換時には、主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

感電する恐れがあります。



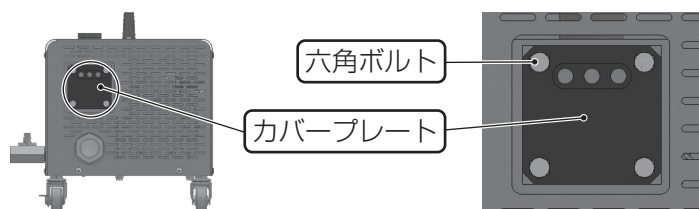
- 長時間連続して使用した直後のエクゾーストフィルター交換はおやめください。

ポンプ・オイルが高温になり、やけどするおそれがあります。

- 1 真空ポンプユニットのカバープレートについている六角ボルト4本をはずし、カバープレートを取りはずします。

補 足

※カバープレート裏にOリングが付いています。なくさない様注意して下さい。

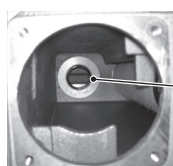
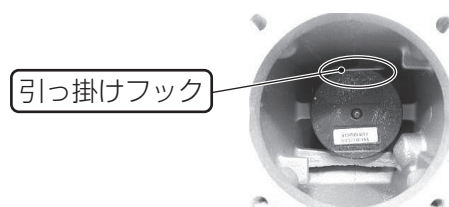


- 2 エクゾーストフィルターを固定している板バネのネジをゆるめ、取りはずします。



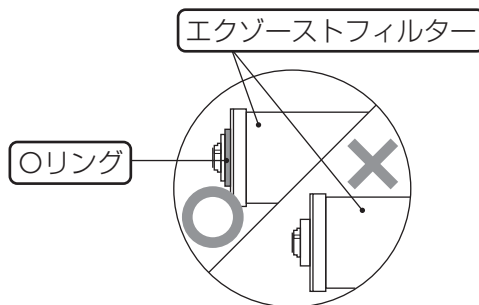
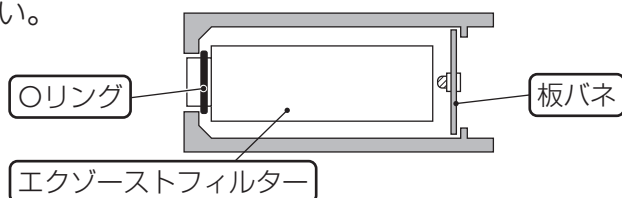
- 3 エクゾーストフィルターの引っ掛けフックをつまみ、引き抜きます。

※ 取り外した古いフィルターにOリングが張り付いています。付いていない場合はポンプ内に張り付いています。



- 4 新しいエクゾーストフィルターへOリングを取り付け、ポンプ内にセットします。

- 取り付け穴へエクゾーストフィルターの位置を合わせてセットしてください。



- 5 エグゾーストフィルターを外した後、**2**、**1**の順で組み立ててください。

4.5 引出し内の清掃方法



警告

- 引出し内部を清掃する場合は、主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

感電する恐れがあります。



注意

- 金属の端面で手を切らないよう、十分注意して作業してください。

手にけがをする恐れがあります。



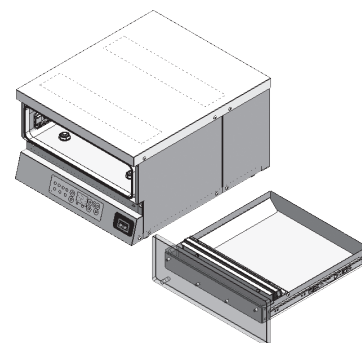
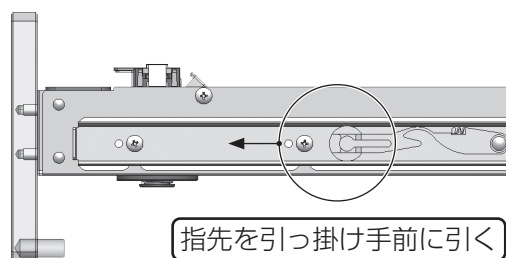
注意

- 各部品が高温になりますので、使用した直後の清掃はおやめください。

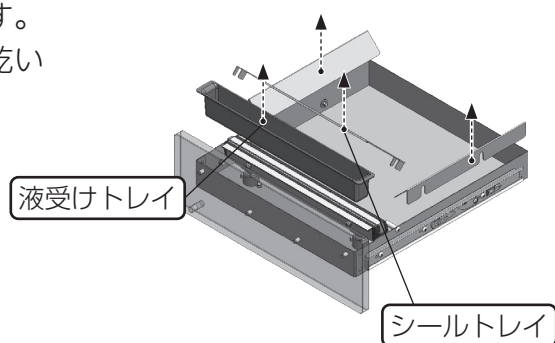
やけどする恐れがあります。

- 清潔にお使いいただく為、また、包装袋への異物混入を防ぐ為に、使用后又は吹きこぼれてしまった時は清掃してください。

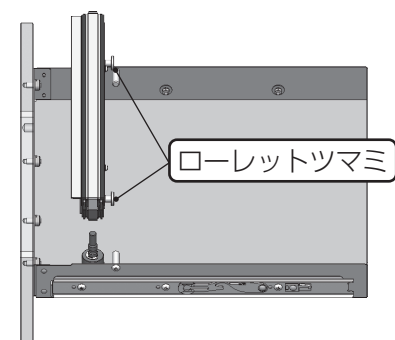
- 1 引出しの両端にある金具を、手前側に引いて引出しを取り外します。



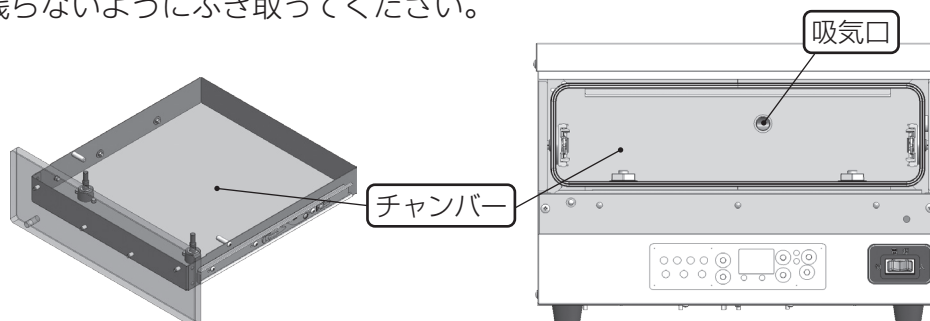
- 2 シールトレイ・液受けトレイ等を上方方向に取りはずします。取りはずしたパーツの汚れは中性洗剤等で洗い落とし、乾いた布等で水分を拭き取ってください。



- 3 ローレットツマミを2箇所ゆるめ、ヒーターブロックを上方方向に引き抜いてください。



- 4** 本体チャンバー部と引出し内部の汚れは乾いたやわらかい布等で丁寧に拭き取ってください。
また、この時に吸気口に異物や水分が入らないように注意してください。
清掃後水分が残らないようにふき取ってください。



- 5** 清掃後、各部品を元どおりに取り付け、動作を確認してください。

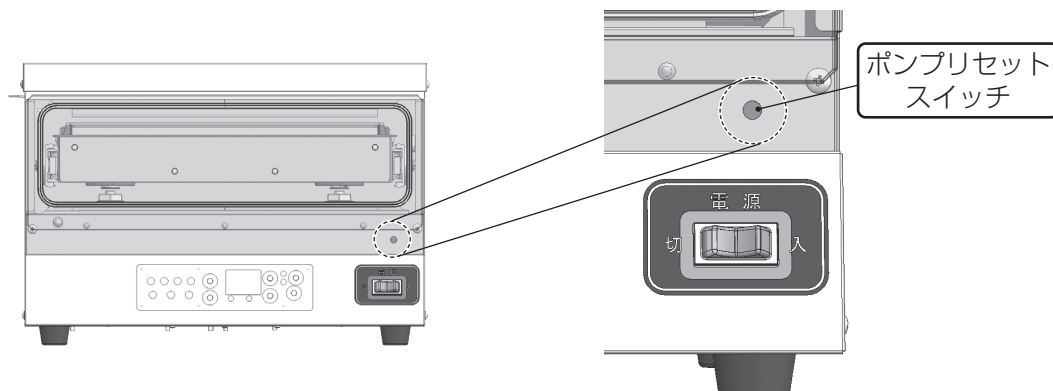
4.6 ポンプリセットスイッチ（サーマルリレー）のリセット方法



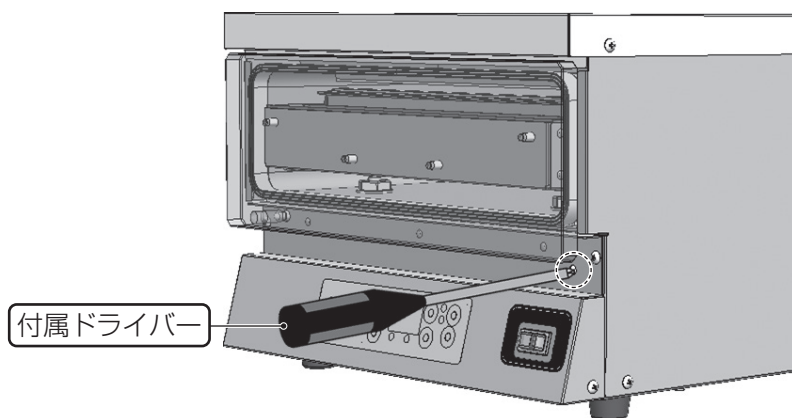
- ポンプリセットスイッチ（サーマルリレー）をリセットする時は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電する恐れがあります。

- ポンプに大きな負担がかかった場合、ポンプリセットスイッチ（サーマルリレー）が動作しポンプリセット作動エラー（表示：E□）となります。



- ポンプリセットスイッチ（サーマルリレー）が作動すると、ポンプが動作を停止します。
 - ・電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・本体前面にあるポンプリセットスイッチの穴に、付属のドライバーを差し込み軽く押し込んでリセットしてください。エラー状態を解除できます。



※ ポンプリセットスイッチ（サーマルリレー）は真空ポンプ（モーター）に過電流が流れた場合、モーターが焼損することを防止するために、電源を遮断する保護装置です。

▶ 32 ページを参照し、エラー原因を取り除いてからエラーのリセットを行ってください。

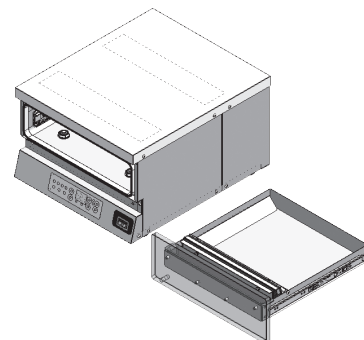
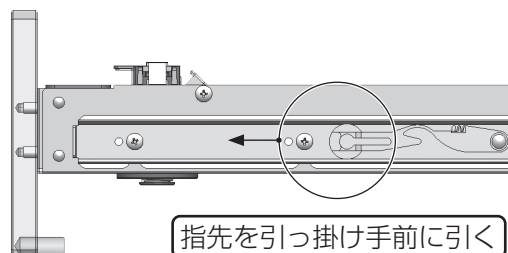
4.7 ガラス管ヒューズの交換方法



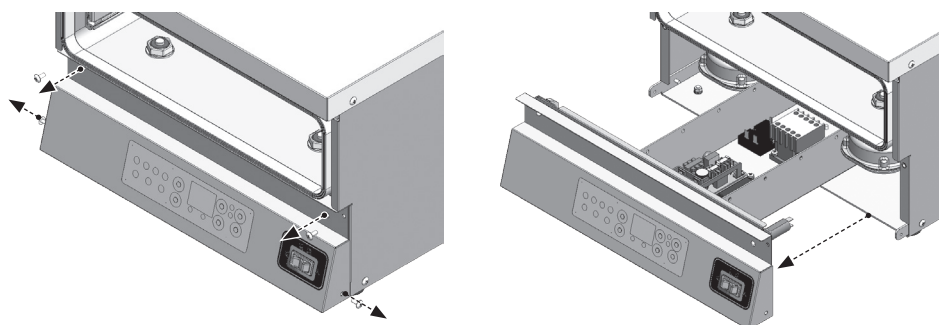
- ガラス管ヒューズを交換する時は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電する恐れがあります。

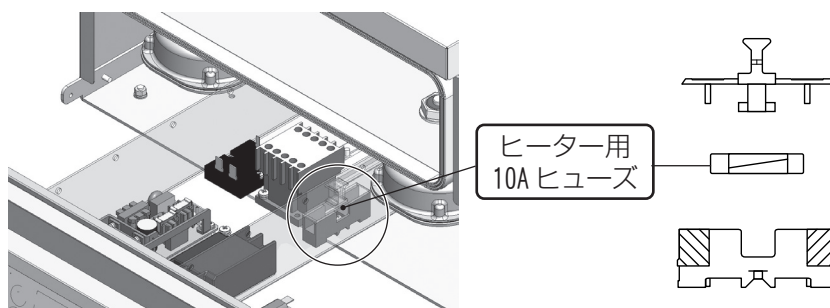
- 1** 引出しの両端にある金具を、手前側に引いて引出しを取り外します。



- 2** 矢印の+ネジ4本をはずし、コントロールパネルを引き出します。



- 3** ガラス管ヒューズを取り外し、新しい物と交換します。



- 4** 各部品を元どおりに取り付け、動作を確認してください。

5

● 困ったときは

5.1 トラブルの症状と対処方法

- ご使用中に異常が生じたときは、以下のトラブルの症状、またはエラーメッセージの内容を確認してください。

こんなときは	原因	対処方法
電源スイッチを入れてもパネル表示しない。	・電源プラグが抜けている。	・電源コンセントに差し込んでください。
	・電源スイッチが入っていない。	・電源スイッチを入れてください。
	・主電源スイッチが壊れている。	・修理が必要です。お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。
デジタル表示は出るが真空ポンプが動かない。	・ポンプのリセットボタンが作動している。 (低温により起動不良)	・使用温度範囲 5℃以下で使用していませんか？ ・ポンプリセットボタンを押し、リセット状態を解除後寒冷地暖機運転を行ってください。 ・(P16、P30 参照)
	・ポンプのリセットボタンが作動している。 (オイル汚れによりポンプ動作不良)	・真空ポンプのオイルが汚れていませんか？ ・ポンプリセットボタンを押し、リセット状態を解除し、暖機運転を行いポンプの作動確認後、オイル交換、フラッシングを行ってください。(P16、P23、P30 参照) ・ポンプが動かない場合は修理が必要です。 ・お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。
シールをまったくくしない。 (跡もつかない)	・ヒーターブロックが動かない。	・ヒーターブロックが手で上下に動くか確認してください。動かない場合は、ヒーターブロックを上下させるシャフトが固着しているので、汚れを取り、グリース(別売)を塗布してください。
	・ヒーター線切れ。	・ヒーター線・絶縁布を交換してください。 (P25、26 参照)
	・ヒーターヒューズ切れ。	・ガラス管ヒューズを交換してください。 (P31 参照)
シールが弱い。 剥がれてしまう。①	・シール時間の設定不良。	・シール・シール冷却時間を適切に設定してください。(P21 参照)
	・包装袋の材質・厚さが適正ではない。	・包装袋の材質・厚さを適正なものに交換してください。
	・絶縁布・シールゴムの汚れ。	・汚れを拭き取ってください。 ・絶縁布が破れている場合は張り替えてください。
シールが弱い。 剥がれてしまう。②	・ヒーターブロックが接触不良を起こしている。	・ヒーターブロックをはずし、シャフトの端面の汚れを掃除してください。再度、ヒーターブロックを確実に取り付けてください。 ・症状が改善しなければ修理が必要です。 ・お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。
	・電源電圧が降下している。	・延長コード・タコ足配線している場合は単独コンセントを使用してください。 ・シール時間を適正に設定してください。

こんなときは	原因	対処方法
真空ポンプの排気部からオイル(オイルミスト)が出る。	・真空ポンプのエクゾーストフィルターが詰まっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・エクゾーストフィルターを交換が必要です。 ・お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。 ※導入時の運転で排気口からオイルミストが出ることがありますが、運転する事により止まります。
引出しが開かない。 開きが少ない。 真空開放に時間が掛かる。	・シール時間が長すぎて包装袋が上下に貼りつく。	<ul style="list-style-type: none"> ・シール時間を適正の値に戻します。 ・材質や厚さ、または設置環境に合わせたシール時間に設定変更してください。(P20、21 参照)
	・サイレンサーの目詰まり。	<ul style="list-style-type: none"> ・サイレンサーの清掃・交換が必要です。 ・お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。
	・内部バルブの作動不良、ゴミ詰まりによる開閉不良。	<ul style="list-style-type: none"> ・バルブの清掃、交換が必要です。お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。

5.2 エラーメッセージと対処方法

- 本製品では動作中に機器のトラブルが発生した場合にエラーを表示します。
エラーの内容にあわせて対処方法等を記載します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
ポンプリセット作動エラー 表示： E0 ・モーターが動かないと安全の為、ポンプのリレー回路が遮断されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプが冷えているとモーターが回転しなくなることがあります。 ・オイルの汚れが原因でモーターが回転しなくなることがあります。 ・ポンプの内部が錆ついてモーターが回転しなくなることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リセットボタンを押したのち、暖機運転を行います。(P16、P30 参照) ・また、5℃以上の環境でお使いください。 ・上記と同様に暖機運転し動作確認後、オイルがきれいになるまでオイル交換を行ってください。暖機運転でも動かない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。 ・お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。
真空不良 (1) エラー 表示： E2 ・5 秒経過時点で真空度が 20%に達していない場合に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ・オイルの汚れや消耗が原因で真空ポンプの能力が落ちている場合があります。 ・引出し内の密閉度が落ちている場合があります。 ・引出し内の空気をポンプが吸っていない場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オイルの汚れや量を確認しオイル交換を実施してください。 ・状態が改善しない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。 ・引出しがしっかり閉まっていない場合は電源を入れなおし、引出しをしっかりと閉めなおしてください。 ・またパッキンの周辺を確認し、汚れ異物があれば取り除き、引出しが密着するようにしてください。パッキンの欠け、ヘコミ等がありましたら、交換が必要です。お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。 ・暖機運転を行い、吸気口から空気を吸っていない場合は、内部パイプ経路が汚れで詰まっている場合がありますので、お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。
真空不良 (2) エラー 表示： E3 ・30 秒経過時点で真空度が 90%に達していない場合に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ・オイルの汚れや消耗が原因で真空ポンプの能力が落ちている場合があります。 ・エクゾーストフィルターのつまりが原因で真空ポンプの能力が落ちている場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オイルの汚れや量を確認し、オイル交換を実施してください。 ・状態が改善しない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。 ・エクゾーストフィルターの交換が必要です。 ・お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。
本体ユニット異常エラー 表示： E5 ・増設ユニットのみ表示。	<ul style="list-style-type: none"> ・本体ユニットになんらかの異常が発生しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本体ユニットのエラー状態を確認し、原因を取り除いてください。 ・状態が改善しない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。
圧力センサーエラー 表示： E6 ・真空度を検知しない場合に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ・圧力センサーに異常が発生している場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圧力センサーの交換が必要です。 ・お買い上げの販売店または当社サービス店までお問合せください。

付表

6.1 初期設定値

※ 初期設定は、 内の数値となります。

<コースデータ>

コース		1	2	3	4
真空	秒	45	30	20	7
	%	99	99	95	70
シール時間	秒	2.5	2.5	2.5	2.5
シール冷却時間	秒	4.0	4.0	4.0	4.0

6.2 設定範囲

項目		最小	最大
真空	秒	5	99
	%	40	99
シール時間	秒	0.0	4.9
シール冷却時間	秒	0.0	9.9

6.3 真空度設定の目安

真空	参考食材
60 秒	マリネ、コンポート、下味付け
45 秒	肉加工品、ブロック肉
30 秒	ほとんどの食材、惣菜
20 秒	煮物（煮汁多め）、魚（切り身）
95%	スープ類、ソース類
70%	カット野菜
40%	シールのみ

7

● 点検表

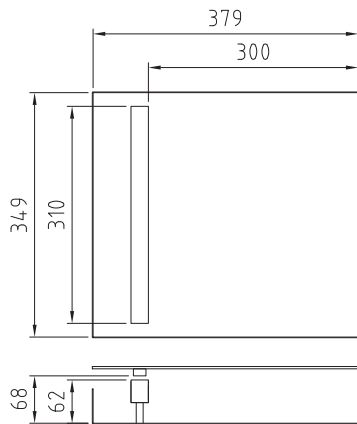
● オイル交換時期等を記入いただき、真空ポンプの管理にお使いください。

No.	点検日	内容	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

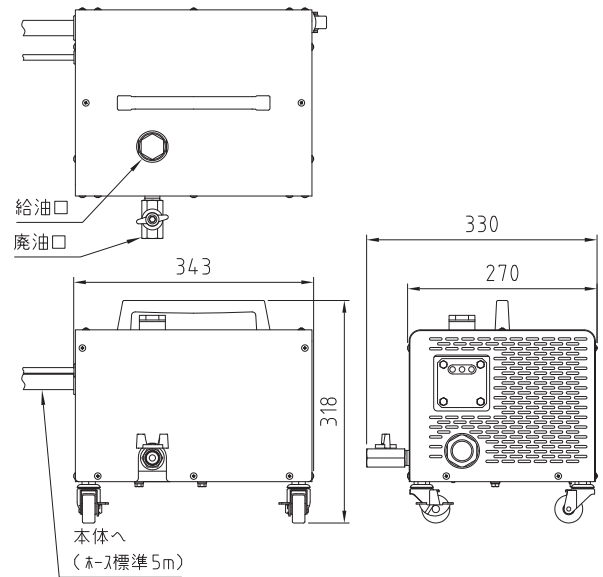
仕様

8.1 外形寸法

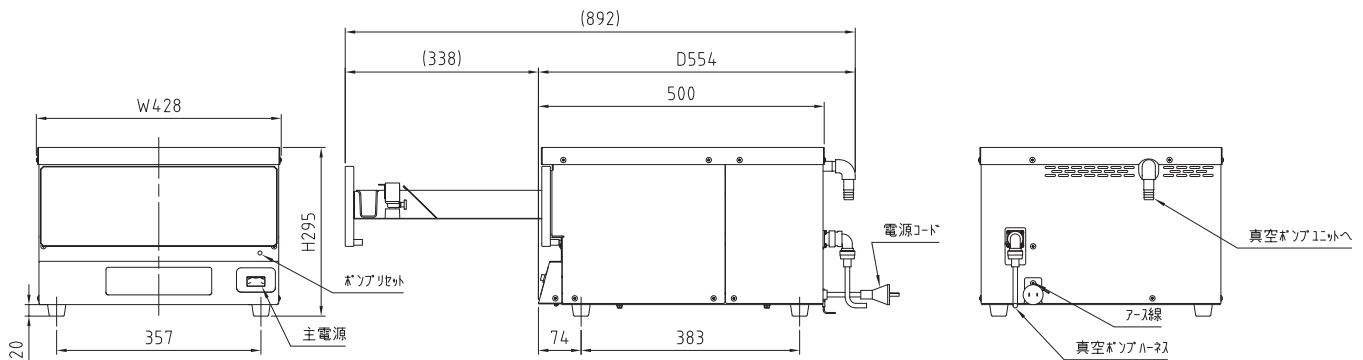
[本体/増設ユニット チャンバー寸法] (単位: mm)



[真空ポンプユニット] (単位: mm)



[本体/増設ユニット] (単位: mm)



8.2 仕様

型式名	VCH-300
チャンバー内寸法	巾 349×奥行 379×高さ 68mm
シール有効寸法	310mm
シール下寸法	300mm
真空ポンプ (50/60Hz)	167L/200L/min
接続ホース	外径φ18 内径φ12 長さ標準 5m
電源	AC100V 50/60Hz
コンセント形状	2P 接地・15A
定格消費電力	1.1kW (50/60Hz)
電動機容量	0.55kW (50/60Hz)
外形寸法	フロントドア開時: 巾 428×奥行 892×高さ 295mm フロントドア閉時: 巾 428×奥行 554×高さ 295mm 真空ポンプユニット: 巾 330×奥行 343×高さ 318mm
製品質量	本体ユニット 39kg 真空ポンプユニット 26kg 増設ユニット 39kg

9

保証

- ◆ご不明な点や修理に関するご相談
 - ・修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点はお買上げの販売店または当社サービス店までお問い合わせください。
- ◆保証書（別添）
 - ・保証書は別途添付しております。
 - ・保証書は必ず「お買上げ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容を良くお読みになった後、大切に保管してください。
 - ・本製品の保証期間はお買上げいただいた日から「1年」です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。
 - ・保証書は日本国内でのみ有効です。
- ◆補修用性能部品の保有期間
 - ・本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後「7年」です。
 - ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ◆修理を依頼されるときは
 - ・異常があるときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってから、お買上げの販売店または当社サービス店までご連絡ください。
- ◆保証期間中
 - ・保証書の規定に従って、お買上げの販売店にて修理対応致します。
 - ・なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。
- ◆保証期間が過ぎている場合
 - ・保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店または当社サービス店までご相談ください。

10

アフターサービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、使用をやめ電源プラグを抜いてお買上げの販売店または当社サービス店までご相談ください。
なお、その際に真空包装機の型式名、製造No、およびお買上げ時期をお知らせください。

販売店名：

TEL：() -

購入年月日： 年 月 日

本取扱説明書において掲載されているすべての内容の著作権は、株式会社 TOSEI（以下当社といいます）に帰属しています。

著作権法および関連法律、条約により、私的使用など明示的に認められる範囲を超えて、本取扱説明書の掲載内容（文章、画像、映像、プログラムなど）の一部およびすべてについて、事前の許諾なく無断で複製、転載、送信、放送、配布、貸与、翻訳、変造することは、著作権侵害となり、法的に罰せられることがあります。

このため、当社の許可無く、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載、または配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。

株式会社 TOSEI

本社・工場	〒 410-2325 静岡県伊豆の国市中島 244	(0120)557-338
東京支社	〒 141-0022 東京都品川区東五反田 1-24-2	(03)6422-7290(代)
中部支店	〒 465-0035 愛知県名古屋市名東区豊が丘 58	(052)772-3988(代)
関西支店	〒 564-0051 大阪府吹田市豊津町 30-28	(06)6338-9601(代)
九州支店	〒 812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-8-3	(092)482-6613(代)
東北営業所・広島営業所・鹿児島営業所		

●ホームページのアドレス <https://www.tosei-corporation.co.jp/>